

各指標の算出方法

市中陽性率

$$= \frac{\text{PCR等検査無料化事業陽性報告数}}{\text{PCR等検査無料化事業検査報告数}}$$

行政検査数

$$= \text{医療機関の検査数} \div \frac{\text{当日のG-MIS上での検査数入力医療機関数}}{\text{G-MIS上での検査可能医療機関数}} + \text{その他行政検査数 (地衛研・民間検査機関)}$$

総検査数

$$= \text{行政検査数} + \text{PCR等検査無料化事業検査数[A]} + \text{抗原検査キット検査数 (推計) [B]} + \text{自費検査数 (日割)} + \text{高齢者施設等検査数}$$

$$[A] \quad \text{PCR等検査無料化事業検査数} = \text{PCR等検査無料化事業の検査報告数} \div \frac{\text{当日の検査結果報告事業者数}}{\text{PCR等検査無料化事業の事業者数}}$$

$$[B] \quad \text{抗原検査キット検査数 (推計)} = \text{神奈川県人口} \times \text{市中陽性率} \times \text{抗原検査キット普及率} \times \text{発症率} \times \text{申告期間率}$$

抗原検査キット普及率 = 県民向け調査回答から算出 (38.1%)

発症率 = 陽性者全体に占める有症状者の割合 (週ごとに算出)

申告期間率 = 一度の発症で検査を1回と計上するための重複削除
(有症状期間が10日とし、 $1/10 = 10\%$)